

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 西

2. 山城／ルート

劔岳・北方稜線(劔沢から本峰=>池平=>真砂沢ロッジ=>劔沢ラウンド)

3. 交通手段

高速バス・電車

4. 行動記録

■2022年9月15日(木)から16日(金) 晴れ

大阪発 21:50---富山着 5:52 富山発 6:07---7:10 立山---室堂着 9時頃

室堂発 9:15---立山三山--15:20 劔沢着テント (泊)

■2022年9月17日(土) 晴れ時々曇り

起床 3:00---4:50 劔沢キャンプ場発---劔岳山頂 8:00 着・8:20 発---

長次郎のコル 8:30 着---池ノ谷の頭 9:40 着---池ノ谷乗っこし 10時着---

三ノ窓 11:00 着・11:15 発---小窓雪渓着 13:40・13:50 発---

小窓雪渓横断し旧鉦山道へ---池の平小屋着 15:00

■2022年9月18日(日) 曇り時々晴れ

起床 4:00---4:30 朝食 5:15 池の平小屋発---8:15 真砂沢ロッジ着---

劔沢テント場 11:40 着---テント撤収 12:10 発---

14:50 みくりが池温泉で入浴---15:40 室堂着

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

- ・天候が下り傾向だったので、劔岳山頂から北方稜線に変更した。
- ・上記ルート変更したことと 1 日目が晴天だったため立山三山を回って劔沢キャンプ場に変更した。
- ・台風のため 1 日早く下山した。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

ヒヤリハットなし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

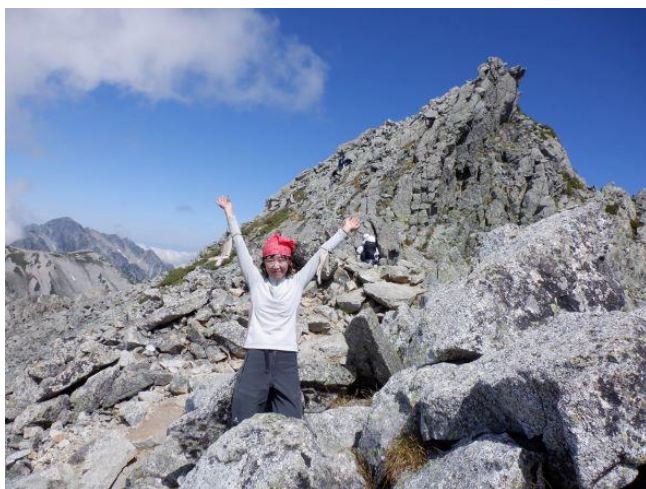
事故につながる要因なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・5年前はみくりが池温泉のコインロッカーに入浴セットをデポできたが、コロナの影響か今回はできなかった。入浴は9時から16時まで。乳白色でいい温泉。
- ・劔沢のテント場は、1日1000円に値上がりし、2泊目以降も泊数だけテント場代がかかるようになっていた。(前は3日も4日も500円×2泊分)
- ・北方稜線は5年前よりピンクのテープがしっかりつけられていた。
- ・池の平小屋から劔沢キャンプ場のルートもピンクテープがしっかりついていてた。
- ・携帯電話は、小窓雪渓から劔沢雪渓を抜けるまでは繋がらなかった
- ・池の平小屋は、勤労者山岳会会員は500円引き。

(感想)

今年の夏・8月は、病気や天気が悪かったため企画していた沢や山に結局行けなかった。去年の三の窓からの風景に会いたくて北方稜線を企画した。でも体力がどこまで戻っているか自信がなかったので無理せずお天気が悪ければ立山三山めぐりだけでもいいや・・・と自由のきくソロで企画した。



台風が発生していたので剣沢から本峰=>池平=>真砂沢ロッジ=>剣沢のルートにした。(ほんとは、池ノ平から剣本峰で行く予定だった)

1日目は快晴で、バスから広がる弥陀ヶ原や剣岳、山々がきれいに見えテンションがあがった。明日の天気はわからないので立山三山をめぐって剣沢キャンプ場まで行くことにした。途中両方のふくらはぎがつりそうになり、結局左足がつってしまった。漢方や岩塩をなめ休みながら頑張った。左

足は山行中ずっと痛かった。でもお天気が良くってロケーションが最高なので来てよかったと思った。

剣沢キャンプ場も風がなくテント設営も容易にできた。

夕方はガスがかかりちょっと残念だった。5年前に比べると暖かくシュラフカバーだけでも良かったと思った。



少し明るくなってから動きたいと4時30分ころ出発を予定していたが、20分ほど遅くなってしまった。でも前回よりもずいぶんと落ち着いていた。剣頂上に予定通りの時間で到着できたので写真を撮ってもらい北方稜線に出発した。

3か所迷ったところがあった。

1つは、長次郎の頭を巻くところ。逆コースを歩いてきた人が大き

な声でルートを教えてくれた。2つ目は、蟻地獄の池の谷ガリーを無駄に下りすぎてしまったこと。少し手前で三の窓テント場跡に行けばよかった。これは池の平小屋スタッフに会い言われた。3つ目は、小窓の王を過ぎ「小窓雪溪方向へ150mほど下り大岩があるところから左へ斜上」するのだが、150m下る前にあがってしまった。これはピンクテープのところまで戻り修正した。5年前は資料を1つ1つ見ながら前に進んだが今回は概略ルート図を頼りに進んだ。



大好きな池谷尾根の頭。ここからのロケーションが素晴らしく八つ峰やチンネ、小窓の王が大きくそびえ、白馬などの山々が眺められる。ここでも逆ルートから来たソロ登山者と会い写真を撮りあった。



池の平小屋では、小屋の前の椅子に座り優しく広がる草原と池を眺めたり、裏剣を眺めたりゆったりと過ごした。お風呂をすぐ

に沸かしていただき、お風呂に入りながら裏剣を楽しんだ。

お天気は持ちそうな予報だったが、宿泊者同士話しているうちに交通機関が止まるかもしれないから早く帰った方が良くと勧められ翌日下山を目標に出発することにした。



剣沢キャンプ場までのルートの下調べはあまりしていなかったが、剣沢雪渓のところで滑る岩をロープを頼りにトラバースするところは怖かった。

今回も大好きな剣を満喫できた。池ノ谷尾根の頭からの風景は最高だったし、静かな山歩きも楽しめた。次回は池の平小屋でもっとゆっくりしたいと思う。小屋での交流もとても楽しいものだった。みなさんありがとうございました。

2022年9月23日 報告者 西